

一、高村入作、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、
又、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、
上、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、
内、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、
武、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、
也、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、高村正吉、

安樂堂

八

和文三篇、中傳、新古今集、早稲、不長、花、物、也、
南、度、之、去、來、附、之、上、家、も、す、い、く、有、知、る、と、思、ふ、也、

一、**五十番** 役高 俵付
 長百性 庄在

安政六未三月十日

五十卷
長石姓中談

安政七年正月

一先と久
善たの平
兵左の

[illegible]

安樂堂

八

和文三篇、中傳、新古今集、早稲、不長、花、物、也、
南、度、之、去、來、附、之、上、家、も、す、い、く、有、知、る、と、思、ふ、也、

一、**五十番** 役高 俵付
 長百性 庄在

安政六未三月十日

五十卷
長石姓中談

安政七年正月

一先と久
善たの平
兵左の

五十二歳

九月八日 病身 祭り 日と祭と 振との 改は
作 依 村方 住と 来 友と 通と お 定り 事

春休 三月十八日

十九日 如一日 祭り

氏祭 九月十九日

十九日 変乙九日 定り

小祭 十一月朔日

十一月 十八日 祭り 不 祭り 友と 如 村中 下 集り

安政七申 二月十二日 定り

五十三歳

角底代り

伏谷山 毒下 談

但 底と 多人と 成り

長原性

共 存り

次 浮 借 平 山 毒下 談

但 久 多 人 成り

角底

五十四歳

田植 節と 来り 祭り

但 地 村 内 二 層と 如 村 中 一 年 成り

四十九

一 当時入作玖村良藏持分皆川田地、先年洪水二堀流、尚
又定用水桁もずり込、其俣二相成居候事故、御高諸成米
上納難出来二付村方申値之上有高二筆合九斗七合
之内高三斗五升之諸出米以来村闔^{かみずき}ニ取計候様相定置候、
尤向年ニ至り先年之地所ニ戻り合候節^者其時之見計ひを以
如何様共取計可有之候事

安政六未正月定

八木村

本文高闔ニ申値之義^者、飛郷瀬尻開地所良藏持分^{江も}
当度見取米附定候故も有之二付、本文之通り相定候

五十ノ内

一 与頭善右衛門病死、安政六未五月御注進書付差上ル

五十番

一 与頭役被為仰付

安政六未十二月十日

長百姓

庄左衛門

五十壹番

先与頭

——
善右衛門倅

一 長百姓申談

兵右衛門

安政七申正月十一日

五十二番

十九日^者御日柄二付、祭事日を替候様ニとの儀被
仰出候、依^而村方申値已来左之通ニ相定候事

一 春休 三月十八日

十九日之处一日前二寄り

一 氏祭 九月廿九日

中ノ九日之处乙九日ニ定り

一 小祭 十一月朔日

十月十日 十六日 十八日 廿日 廿四日
二十五日 六度之処村中一日ニ集メ

安政七申正月十一日定メ

五十三番

角藏代り

長百姓

一 伏ヶ谷山番申談

兵右衛門

但豊藏与式人ニ相成候事

久兵衛老人之处

百姓

一 浄傳平山番申談

角藏

成米 (なりまい) 田畑の
貢租として提出する米、
年貢米
申値 (もうしあい) 相談

山番 村役人の下で村
内山林の管理・育成・
違反摘発を担当



但久兵衛与弍人ニ相成候事

五十四番

一田植之節已来夕飯なしニ相定り候事

但下地ハ村内区々ニ候処、村中一手ニ相成候事